

周波数の国際協調利用促進事業 令和2年度 採択評価結果

| 案件名 | | 実施期間 | 評価会での主なコメント | 評価点 |
|--------------------------|------------------------|---------|--|-----|
| 気象・防災プラットフォーム技術の国際協調利用促進 | ダム管理用雨量レーダー (固体素子型) | R02-R05 | <ul style="list-style-type: none"> ・固体素子を用いた偏波機能を有する Xバンドレーダをダム周辺に配備する計画は実現性が高いと思われる。 ・スペクトルアナライザを用いて現地調査を予定しており、NBTC（タイ国家放送通信委員会）への協力要請を通じて調査の精度を上げている。また納入するシステム側で混信に対応する予定である。 ・十分な余裕を持った計画と考えられる。 ・レーダーシステムの専門企業が担当しており、妥当な体制が構築されていると認識できる。他方、タイには、現地に精通する政府系および民間の組織が多数あると思われる。そういう組織をもっと活用すべきではないか。 ・事業の目標設定は明確である。 ・相手国がどこまでの精度をどの程度の金額で追求したいと考えているかを十分検証していただき、相手国政府の調達を通じて採用される競争力を追求していただければと考える。 | 3.7 |